

OG-30 2016.5.28

Open Data 米国

情報公開で、住民の参加を得て社会問題を解決するオープンガバメントであるが、次は政府が蓄えている膨大な情報を資源として利用して、GIS、個人認証を基盤として、ネットワークを使って、いろいろな情報をすり合わせてイノベーションを起こすのがオープンデータである。オバマ大統領は、2009年(平成21年)1月の就任直後に「透明性とオープンガバメント(Transparency & Open Government)」と題する覚書を各省庁の長に対して発出しており、この覚書では、「透明性」、「国民参加」、「協業」の3原則に基づき、開かれた政府を築くことを表明している。また、同年5月には「オープンガバメント・イニシアティブ(Open Government Initiative)」を公表しており、同年12月には「オープンガバメントに関する連邦指令(Open Government Directive)」を発出している。米国政府では、これらを踏まえ、「透明性」を高める取組として、同年にData.govやITダッシュボードを開設した。その政策は行政管理予算局からの覚書と一緒にオープンデータポリシーを確立し、執行命令を出した。これらのポリシーは、経済成長を促進し、雇用を創出するための方法として開発された。この政策はSunlight Foundation(<http://sunlightfoundation.com/>)とOpen Knowledge(<https://okfn.org/>)の支援によって作成された。この政策はGitHub(<https://github.com/github>)から公開された。

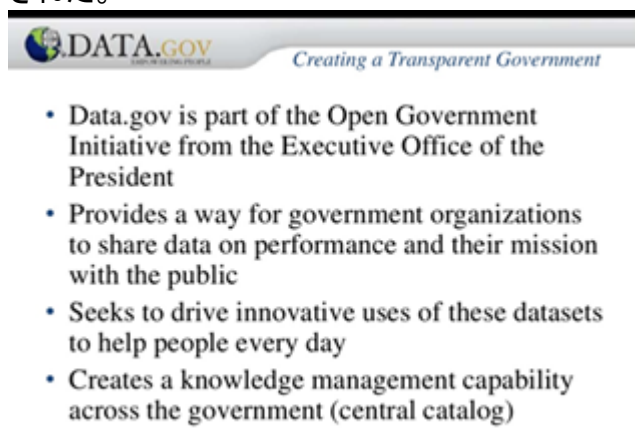


図1 Open Data 政策

そして、2012年(平成24年)5月に発表した「デジタル・ガバメント戦略(Digital Government: Building a 21st Century Platform to Better Serve the American People)」に基づき、数値データだけでなく文書情報等の非構造化データも対象に開を推進している。さらに、オバマ大統領は2013年(平成25年)5月に政府情報のオープンデータ化を義務付ける大統領令(Executive Order - Making Open and Machine Readable the New Default for Government Information)を発令し、併せて、オープンデータに関する新たな方針を発表した。この大統領令により政府機関には、個人のプライバシーや機密情報、国家の安全保障に関わる情報の保護に配慮しつつ、新たに作成するデータはできるだけ発見・アクセスしやすく、再利用しやすい形で公開すること等が義務付けられ、経済成長を促進し、雇用を創出するための方法として開発された。

(1) Data.gov

政府の情報を公開する。

Data.gov(図 2) は、2009 年 5 月に Vivek Kundra 連邦最高情報責任者(CIO)によって立ち上げられた。彼によると「data.gov の目的は、連邦政府のすべての行政府によって生成された高い値、機械可読データセットへのパブリックアクセスを増加させることである。このサイトは、すべての情報のリポジトリになることを目指して政府は収集する。このサイトは、パブリック、プライベート、またまたは国家安全保障上の理由から限定されない任意のデータを公開することになる。同サイトは 2014 年 5 月時点で、10 万を超えるデータセット、350 を超えるアプリなどが提供されている。データは XML、CSV、KML/KMZ、XLS 等の形式でダウンロードが可能となっている。14 の分野にわけてデータを開示している。(図 2)

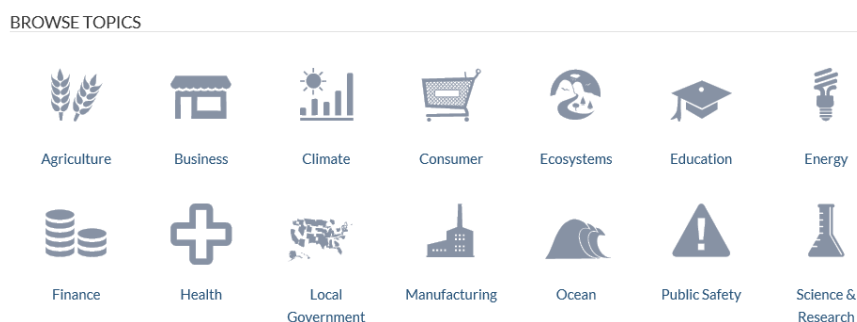


図 2 Data.gov のホームページ

<https://www.data.gov/>

Open Data が始まって 7 年間(2016)、Open Data の本部 Data.gov は Data.gov はデータの本拠地として 7 年目で、企業や市民に、研究者や市民のハッカーから、世界中で何百万人もの人々にサービスを提供し続けている。これらのユーザーは、アプリケーションを作成した新しい製品やサービスを立ち上げ、国民に米国政府がより多くの説明責任と責任を果たしている。

Data.gov はデータの本拠地として 7 年目で、企業や市民に、研究者や市民のハッカーから、世界中で何百万人もの人々にサービスを提供し続けている。これらのユーザーは、アプリケーションを作成した新しい製品やサービスを立ち上げ、国民に米国政府がより多くの説明責任と責任を果たしている。[Data USA](#) オンラインアプリ、Deloitte の支援で、MIT Media Lab と Datawheel のデータ科学者チームが開発したオンラインアプリ [Data USA](#) が公開されたデータを使って人口統計や経済のデータを可視化してが米国人を助けている。SymSoft Solutions が開発した地理データのオンラインアプリ [Where are the Jobs](#) 雇用状況や給与情報を提供している。このアプリは得た [won](#)。2011 年度労働省の職業雇用統計チャレンジ(Occupational Employment Statistics Challenge)論文 [paper](#) で一位となった [won](#)。農務省のデータをこのアプリで分析して農業者が農場 5 マイル以内の収穫データを正確に知ることを助けた。さらに [FarmPlenty](#) は USDA-Microsoft Innovation Challenge Grand Prize 賞を得た。

(2)GitHub (<https://government.github.com/>) (アウトソーシング)

GitHub(ギットハブ)はソフトウェア開発プロジェクトのための共有ウェブサービスであり、[Git バージョン管理システム](#)を使用する。[Ruby on Rails](#) および [Erlang](#) で記述されており、GitHub 社によって保守されている。主な開発者は Chris Wanstrath、PJ

Hyett、Tom Preston-Werner である。GitHub 商用プランおよびオープンソースプロジェクト向けの無料アカウントを提供している。2009 年のユーザー調査によると、GitHub は最もポピュラーな Git ホスティングサイトとなった^[3]。Data.Gov プロジェクトの推進機関となってオープンソフト開発 Code for America(<http://careerhack.en-japan.com/report/detail/605>) を担当している(図 3)



図 3 Data.gov の推進体制

(3) オープンデータ推進プロジェクト (Project Open Data dashboard)

Data.gov プロジェクトの進行情報を評価する。

大統領府はオープンデータ政策を政府機関が導入するのを助けるためにコード、ツール、事例の収集をする Project Open Data を開発した。この目的は政府の情報資源を職員、契約者、開発者、国民が容易に使えるようにすることである。さらに詳しくは [Project Open Data Governance](#) で述べている。オバマ大統領が新しいオープンデータ政策 [Open Data Policy](#) と指令 [Executive Order](#) を発令した。その目的はオープンデータが可能な限り、アクセスが容易で、利用できるようにすることである。そのシステム [Project Open Data](#) は [GitHub](#) が公開した。

公開して 24 時間で 24 件以上のアクセスがあったと GitHub は言っている。

省庁の進行状況を [Project Open Data Dashboard](#) で表示している。ただし、各防省のデータは公開さ荒れていない。適切な EDI や PDL に関する文書やアプリの入手に失敗したら [Agency Dashboard](#) か [Project Open Data](#) を見ると OMB が評価した各政府の状況が [Project Open Data](#) が [Agency Dashboard](#) で表示されている。このサイトには各省庁がこのプロジェクトを実施するためのツールや情報が用意されている。国民は誰でも

[edit this documentation on GitHub](#) で、このプロジェクトに参加できる。

Data.gov の進行状況は行政管理予算局(OMB)によって評価された全省庁のデータがホームページからのデータが [Agency Dashboard](#) で見ることができる。このグラフは農務省の事例で示す。<http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome> まず、各行政機関のアクセス出来るデータ数まず、各行政機関のアクセス出来るデータ数の進行状況 (Enterprise Inventory) で、公開データセット (Public Dataset Status)、データアクセス度 (Data Link Quality)、公開データリス民参加度、個人情報 (Privacy&Security) に分類されて示されて、グラフで示されている(図 4)。この Dashboard は農務省 (Department of Agriculture) (<http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome>) の事例で示す。全体の高さは

公開する目標データで、表の緑色は公開されたデータ(public)、だいたい色は一部が公開されたデータ(restricted public)、黄色が未公開のデータである(non-public)。次の表 [Agency Dashboard](#) では一つの枠をクリックするとさらに詳細なデータが得られる。そして左上に各省庁のホームページが添付されている。プロジェクト全体の構想を農務省の事例 <http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome> で示す。(<https://labs.data.gov/dashboard/offices>) <http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome>

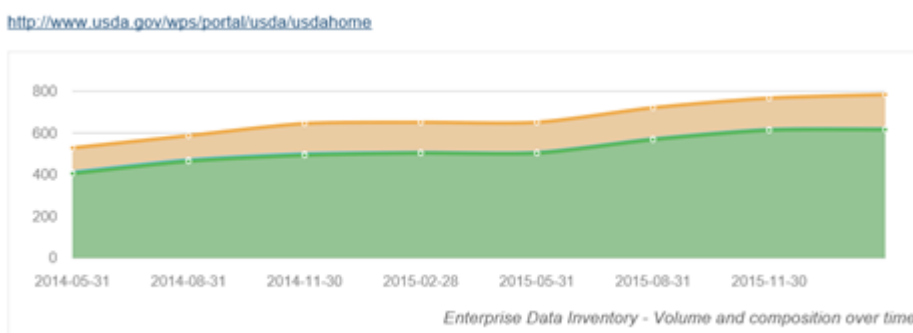


図 4 農務省の事例

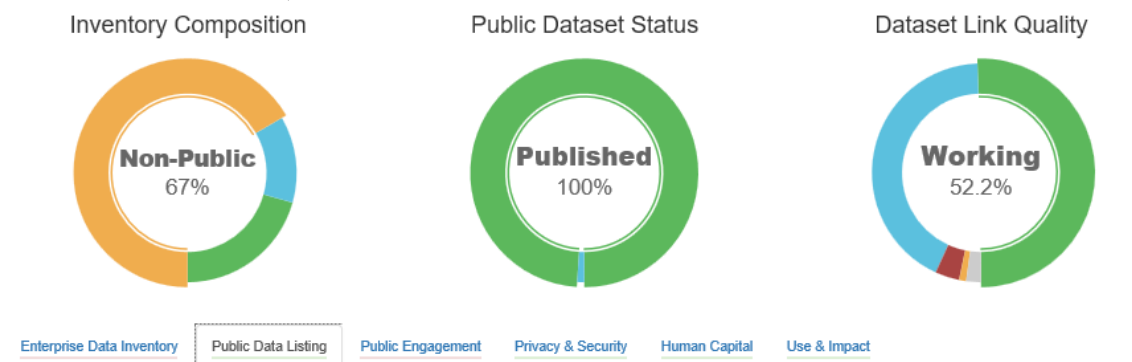


図 5 Doughnut Charts

第5図は上記の結果を見やすくしたもので、色の上をクリックすると中に達成データが出てくる。

(4)イノベーション:オープンデータ 500 (<http://www.opendata500.com/us/>)

Open data のすり合わせによるイノベーション成果を図 6 で示す。

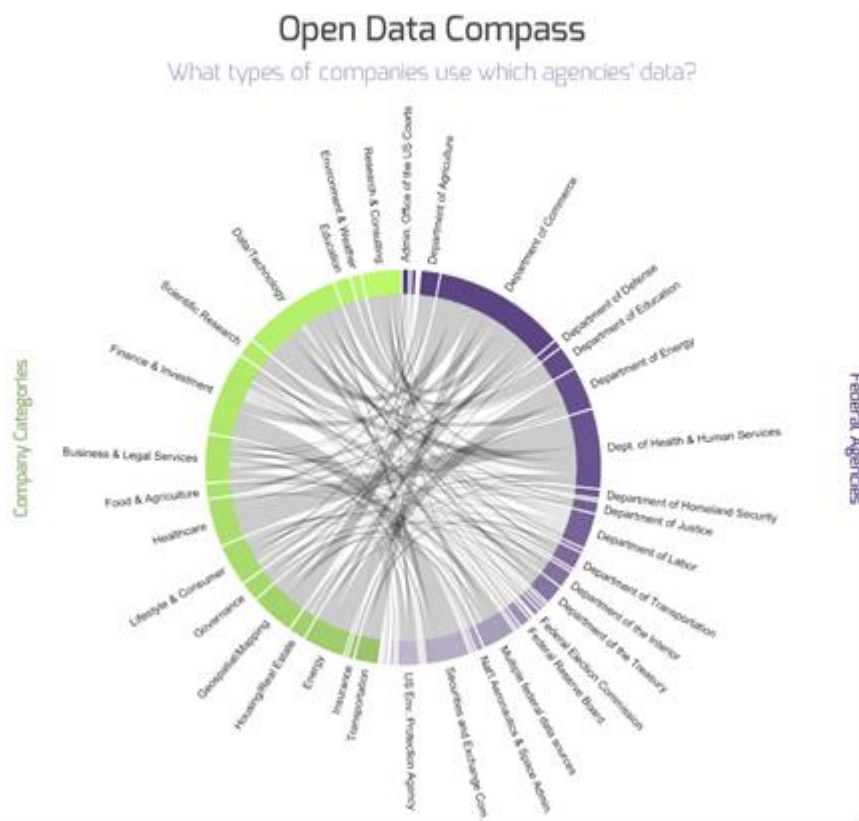


図 6 Data.gov によるイノベーション成果

右側(緑色)は参加企業カタログ、左側(紫色)は全政府機関で、関連するイノベーションの成果を線とプロジェクト数で示している。現在の登録企業は約 1000 社でイノベーションで設立した企業数は約 570 社である。豪州、イタリア、メキシコ、韓国、カナダも登録している。このプロジェクトは Open Data 500 プロジェクトは [John S. and James L. Knight Foundation](#) の資金提供でニューヨーク大学ので [the GovLab](#) が運用している。